

ひまわり1組 生活単元学習指導案

場所 ひまわり1組教室

授業者 河村 光子

1 単元名 「 どうぶつ玉入れで遊ぼう 」

2 単元について

ひまわり1組の「生活単元学習」は、2人の児童で行っている。人と関わることは苦手だが自分で決めたことには集中して取り組むことができる2年A児と、人と関わるのが好きだが自分の考えを押しつけてしまう4年B児である。ひとりで本を読んだり物を作ったりすることが好きなA児に対し、2人で遊びたいB児なので、休み時間に一緒に遊ぶ姿はほとんどなく、お互いの気持ちがすれ違いトラブルになることがある。しかし、国語や算数の授業では、個別の課題に取り組みながらも、絵カードや双六の場面で少しではあるが関わる姿が見られるようになった。

この単元は、ひとり遊びが好きで運動に自信がないと思いついてA児が、大好きな動物を取り入れた遊びをすれば、B児の姿を通して、運動することに少しは自信をもち、仲間と関わって遊ぶことができるのではないかと考えて設定した。

9月に第1段階として、「玉入れ遊び」をした。その時は、教師が準備した箱に絵を貼る程度の物だったが、今回は、箱に穴をあけたり箱を組み合わせたりにして遊び道具を作らせた。

そこで、動物好きなA児を中心に、空き箱を使って2人で玉入れの道具を作り、その動物にえさをあげるといって、玉入れ遊びにつなげていく。B児は、基本的に体を動かすことや遊ぶことは好きなので、玉入れ遊びをリードできると考えた。作った物で遊び、普段お世話になっている先生を招待したり、ひまわり2組の友達を招待したりすることにより、人と関わることや、人に喜んでもらえる体験をさせたい。

この単元を通して、A児には、複数人で遊ぶことの楽しさと自分もできるという自信を、B児には手を出したくても相手のことを思い気持ちをコントロールできる力が少しでも付けばと願っている。

本時は、作った動物玉入れで遊ぶことで、友達と関わりをもち、きまりを守って仲良く遊ぶ体験をさせたい。相手を意識した言葉「次はぼくだよ。」「○○さんやってね。」などの言葉が出たら大いに褒めていきたい。

3 研究にかかわる本時の意図

研究内容1 教材化の在り方と単元構成の工夫

①意欲が持続する教材の工夫

子どもたちが興味・関心をもって取り組むことができる活動を考えた時、動物作りが好きなA児、体を動かすことや人と関わることの好きなB児が飽きずに活動できるためには、興味ある動物を取り入れた活動を仕組むとよいと考えた。

前時までに、段ボールの箱に好きな動物の顔を描き、玉を入れる場所に穴を開けている。

本時は、その箱を使って玉入れ遊びをすることで、興味を持続すると考えた。

また、遊びの対象を自分の学級から隣の学級、校内の先生や保護者へと広げていくことで、次への見通しをもったり次時を楽しみにしたりすることができるように考えた。



研究内容2 学習活動の工夫

①見通しがもてる活動の工夫

本時は、何をやるのかを明確にして黒板に示すことで1時間の見通しがもてるようにした。また、玉入れ遊びを何度も繰り返すことにより、活動内容が具体的にイメージできるようにした。さらに、授業の最後に次時の予告をすることで、今後の見通しがもてるようにした。

研究内容3 評価と指導・援助

①一人一人の状況に応じた指導・援助の工夫

A児は、苦手なことには「できない」「やらない」と言って全く取り組もうとしないところがあるので、まずは、怒らずにその場にいること、指示に従って玉入れに参加することなどができたら、認めたり褒めたりしたい。

B児は、2人で協力する場面や、相手がやるべき場面で、自分ひとりでやってしまうことがあるので、自分の役割ができたことを認め、A児の活動を見守ったり声をかけたりできたら褒めたい。

活動する中で、うまくいかない場面や困った場面に出くわすことがあるが、どうしたいのか、何に困っているのかを探り、見守ったり声をかけたりする。困ったときには、「手伝ってください。」「教えてください。」「自分から言うようにアドバイスする。

また、できたことを、具体的な言葉で本人に分かりやすいように伝えていきたい。

②環境設定の工夫

玉入れ遊びにバリエーションをもたせることにより、活動に飽きないようにする。また、得点板の位置、投げる向きなど一定にすることにより、安心して遊ぶことができるようにする。

<本時のねらい>		A児（2年男子）	B児（4年女子）	
活動の約束を守り、投げ方を工夫して、玉入れ遊びを楽しむことができる。	実態 本時に関わる	<ul style="list-style-type: none"> 玉を入れたい気持ちが強く、的に近づいて入れようとする。 転がった玉を進んで拾おうとはしない。 困っても何も言わないことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間の応援をしたり、点数を記録したりすることができる。 玉を入れるために、投げる強さを加減することが難しい。 	
	姿勢 めざす	<ul style="list-style-type: none"> 立つ位置を意識して、玉を投げるができる。 入らなくても怒らずに遊ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 力の入れ方を加減して、玉を投げるができる。 役割分担を守って遊ぶことができる。 	
本時の位置 7 / 10				
	学習活動	・個別の学習活動 ◆個に応じた指導・援助 ◎評価		指導・援助
見通しをもつ	1 本時の活動内容を確かめる。 ①準備をする ②遊ぶ ③振り返る ④片付ける	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動内容を声に出して確かめる。 じゃんけん遊びやお手玉あそびをする。 <p>◆がんばっている姿や、良くなった姿を褒める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動内容を声に出して確かめる。 じゃんけん遊びやお手玉投げをする。 <p>◆じゃんけんの勝ち負けの判断ができたなら認め言葉をかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を声に出すことにより、活動の見通しをもたせる。 じゃんけんのルールを確かめる。
	活動する	2 玉入れ遊びをする。 ①準備 ②順番決め（じゃんけん） ③めあての確かめ ④遊び ・2人で	<ul style="list-style-type: none"> 玉入れの箱を選んで置く。 ◆困った様子が見られた時には、「どうしたいの？」と声をかける。 じゃんけんをして順番を決める。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">投げ方を考えて玉入れ遊びをしよう。A：線から投げよう。B：ふわっと投げよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人で玉入れ遊びをする。 ◆線をまたいで投げてもよいことにする。 ◆玉が入らなくても、線を意識して投げたり、指示に従って動いたりできたことを褒める。 <p>◎線を意識して投げるができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 玉入れの箱を選んだり、置く高さを決めたりする。 ◆A児がやることに手を出しすぎないようにする。 じゃんけんをして順番を決める。 <ul style="list-style-type: none"> 2人で玉入れ遊びをする。 点数表に点数を書く。 ◆「ふわっと投げよう」と声をかける。 ◆順番を守らなかった時には、「まちがえたんだね」と声をかける。 ◆A児への励ましや認めの声かけができたときに褒める。 <p>◎ふわっと投げるができたか。</p>
振り返る		3 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 感想を話す。 ◆言葉足らずの場合は、教師が補う。 	<ul style="list-style-type: none"> 感想を話す。 ◆言葉がはっきりしないところや、相手に伝わりにくい時には、教師が補う。
	4 片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> 次時の予告を聞き、片付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 次時の予告を聞き、片付ける。 	

